

椎茸農家との意見交換会報告

「意見交換会」第3弾の相手は3人の椎茸生産農家の方々でした。規模や経歴・経験はそれぞれですが、椎茸に対する思い入れは同様に熱いものをお持ちの皆さん方との交換会で全委員参加のもと2時間余、熱心に質問や希望等の意見交換をおこないました。

農家側からは「榎木の供給間隔を農家ごとの希望に」や「栽培上のデータ・技術面の情報共有をもっと」「定期的な生産指導の勉強会開催」などの意見がありました。委員からは不良品・雨子等ついて「味に大きな欠点はないなら有効な利用方法や消費促進に向け互いに努力すべき」との意見や「農業遺産に関わる特産品でもあり、生産や収入の安定に繋

がる方策を模索すべ
き」等の意見や、生産の要は優良な榎でありそれに向けた会社の努力を望む声が多くありました。

今回は前回の各組織との意見交換同様、初めての開催であり、参加頂いた農家側の意見にも遠慮があったり、委員側も農家の実状等に初めて触れる場面もあり、今後引き続き交換会を望む意見が多く出されました。

総務経済常任委員会

5月17日 カルチャープラザにて



5月17日 カルチャープラザにて

木次線活性化促進議員連盟

木次線活性化促進議員連盟は7月5日、令和4年度の総会を開催しました。

令和3年は、JR西日本から木次線観光列車「トコロ列車奥出雲おろち号」が令和5年度で運行を終了し、代わって宍道出雲横田駅間に「あめつち」を運行することが提案され、それを沿線自治体は受け入れるなど、大きなことが決定した年となりました。

議員連盟はそうしたことを受けて、「あめつち」運行が、奥出雲の地域経済の活性化や観光振興に一層活かされるようにと、町に対してダイヤ編成、沿線観光のモデル作成などの提言書を提出しました。

今後は「あめつち」に試乗体験をして、皆様へ情報提供を行って行きます。



山陰本線を走る「あめつち」



6月12日（日）木次線の日 6月定例会に仁多庁舎へ列車で向う議員および町執行部